



次代を担う子どもたちが郷土に愛着を持てるよう

## 郷土愛をテーマに

### 平成21年度施政方針

平成21年市議会第1回定例会で、臼井孝市長が発表した施政方針の内容をお知らせします(原文を基に掲載)。21年度の施策は、「郷土」と「郷土愛」をテーマに、取り組んでいきます。

私は、あきる野市の優れた地域特性や豊かな将来性に思いをめぐらすとき、今このときに改革に着手しなければならぬとの強い使命感を覚え、平成20年度を「行財政改革元年」と位置付けて、これを推進するた

化を図り、市民と協働のまちづくりの精神を基本として、さまざまな行動を起こしてまいりました。

それは、地域活性化プロジェクトによる市民本位のまちづくり、ふるさと農援隊および防災・安心地域委員会の活動、小・中学校の耐震化整備の前倒し実施、武蔵引田駅周辺地区土地区画整理事業、旧秋川高校周辺地区土地利用の検討への着手など、あきる野市の限らない発展の基盤となる施策であります。

厳しい現実を直視し、市の発展のために邁進懸案でありました、土地開発公社の財政健全化については、東京都と精力的かつ継続的な協議・調整をしております。その結果保有土地を郷土の自然緑地に位置付けることにより、簿価総額が飛躍的に縮減され、今後の健全化計画は、大きく前進する運びとなりました。

このように積極的な施策の展開が図られている中で、今般の世界経済の急速な冷え込みにより、わが国の経済も景気後退の局面となりました。あきる野市にとっても、その影響のほどが計り知れないところとなり、さらなる行財政運営の引き締めが必要となります。



臼井市長

この経済不況の中、特に中小企業の経営に及ぼす影響に憂慮をしております。市では、平成20年度補正予算において、緊急的に利子補給金を追加しましたが、今後も経済動向に注視しながら、商工会と連携を図り、速やかな課題対応をしてまいります。

さらに、緊急経済対策では、定額給付金の支給に向けて、全庁体制で準備を進めております。地域経済を元気にする給付金の活用に対する商工会の取り組みに、特別な支援を行ってまいります。

私は、このような厳しい現実を直視し、この試練に耐え忍ぶ覚悟であります。市民とともに痛みを分かち合う場面も多くなると思いますが、市民生活の向上をめざし、誰もが誇りをもち、愛着の持てる、ふるさとあきる野の発展のために、邁進する所存であります。

また、市民が郷土に誇りを持ち、自らまちを創り上げていくという意思であり、市政に参加していただくことでもあります。昨年末には、町内会・自治会をはじめ、各種団体のご理解とご協力をいただき、各地区において、「防災・安心地域委員会」が立ち上がりました。本年も、市民の皆様とともに、災害に強いまちづくりと地域力の強化に努めてまいります。現在、各委員会では、防災対策を中心に、精力的な活動が展開されており、市職員で構成する「地域コミュニティ応援隊」と密接に連携し、地域住民の手による創造的な事業提案がなされ

平成21年度  
市政の基本的な  
方向性

「環境都市あきる野」の位置付け

私は、市民と連携し、この難局を乗り越える先には、必ず、輝かしい明日が見えるものと確信をしております。合併時の理想である「人と緑の新創造都市」の実現に取り組んでまいります。

地域の安心は  
郷土の底力

まちの発展に何よりも大切なことは、市民が郷土に誇りを持ち、自らまちを創り上げていくという意思であり、市政に参加していただくことでもあります。昨年末には、町内会・自治会をはじめ、各種団体のご理解とご協力をいただき、各地区において、「防災・安心地域委員会」が立ち上がりました。本年も、市民の皆様とともに、災害に強いまちづくりと地域力の強化に努めてまいります。現在、各委員会では、防災対策を中心に、精力的な活動が展開されており、市職員で構成する「地域コミュニティ応援隊」と密接に連携し、地域住民の手による創造的な事業提案がなされ

3月の市税の納期	市・都民税	随時期
	国民健康保険税	随時期

そのために、今まで取り組んできた重点事業に加え、環境の時代に対応する、「環境都市あきる野」の位置付けを明確にする新たな事業に取り組んでまいります。

それは、一つに豊かな自然を構成する森の特性を再発見し、活用する「郷土の恵みの森構想」の策定であります。もう一つが、長い歴史の中で、優れた文化が花開いた五日市を題材にした「東京のふるさと五日市物語」の創作であります。

地域活性化プロジェクトの提言により、新たな市民との協働の姿が実現しました。市の商業・文化の拠点である秋川駅北口地区の活性化のため、商工会、秋川駅北口会などの経済団体が中心となって、「秋川駅北口地区産業活性化戦略委員会」が組織されました。明日に向けて発展する地域経済をイメージしたイルミネーションが秋留野広場へと広がり、冬の澄みきつた空気の中で、木々に飾られた美しい光があきる野市発展のシンボルとして輝き、市民に勇気と希望を与えてくれました。さらに、五日市地区、養沢地区への広がりが、すぐそこまで来ていると思えます。これから展開される市民中心の活性化戦略委員会の取り組みに大いに期待をしております。



秋留野広場に広がったイルミネーション

2面につづく